

# ストーブの安全な取扱いについて

先日、占冠支署管内において住宅火災が発生しました。出火原因については、現在調査中ですが、冬期間はストーブ等の暖房器具を原因とする火災が増加します。

年末年始を迎え、使用頻度が多くなると思いますが、ストーブの安全な取扱い方法を確認し、定期的な点検・整備を行うことでストーブによる火災を未然に防ぎましょう。

## 1. 適切な取扱い方法の確認

- ・取扱い説明書に従って点検を行いましょう。
- ・石油ストーブ等に燃料を給油するときは、必ず火を消してから行いましょう。
- ・電気ストーブやファンヒーターを使わないときは電源プラグを抜きましょう。



## 2. 周囲の状況の確認

- ・ストーブの周囲や上方に洗濯物を干さないようにしましょう。
- ・ストーブの近くでスプレー缶などの使用や放置はやめましょう。

## 3. 灯油などの燃料の保管

- ・灯油などの燃料は火気を使う場所から遠ざけ、直射日光を避けた冷暗所に保管しましょう。

## 4. 薪ストーブの点検・清掃

- ・薪を燃焼させた際に発生するすすやクレオソート（有機タール）等が煙突内部に付着したまま使用し続けることで煙突火災に繋がる場合があります。定期的な清掃を行いましょう。

また、積雪の影響により排気筒が埋まることがあります。こういった場合は適切な排気がされず、不完全燃焼などを起こす可能性があり、大変危険です。常に状態を確認するようにしましょう。

問合わせ先

富良野広域連合富良野消防署占冠支署  
指導係（森田・八木・奥平・長谷川）

TEL：0167-56-2119